



今年は2月17日から四旬節に入り、4月4日に復活祭を迎えます。イエス・キリストの受難と死を思い、ともに復活の喜びにあずかるべく、自分をふりかえって心の準備をする期間です。人々の救いのために自らをささげたキリストに導かれて、私たちも互いに助け合い、キリストのメッセージを伝えていく存在となれますように。新型コロナウイルスの影響で落ち着かない状況が続いていますが、新年度を迎えるにあたって、一日一日を大切に過ごしていきましょう。



3月の予定

	行 事	お弁当
1(月)	通常授業(～3/6)	要
2(火)	放送朝礼	要
3(水)		要
4(木)		要
5(金)		要
6(土)	考查前図書館開放(～16:00)	※
7(日)		
8(月)	学年末考查①	※
9(火)	学年末考查②	※
10(水)	学年末考查③	※
11(木)	学年末考查④	※
12(金)	考查返却①	要
13(土)	考查返却②	※
14(日)		
15(月)	朝SHR 得点通知 中3 卒業式練習 中1・中2・高1・高2 キャリア教育ワークショップ	不要
16(火)	生徒家庭学習	
17(水)	個人写真撮影 姉妹会総会 中1～中3 卒業研究発表会 中3 卒業式練習	不要
18(木)	中学卒業式 中1・中2・高1・高2 家庭学習 高3卒業式②(13:30～)	不要
19(金)	大掃除 中1・中2・高1・高2 終業式 帰省日	不要
20(土)	春季休業(～4/6) 春分の日 キリスト教学校フェア(オンライン)	
21(日)		
22(月)		
23(火)		
24(水)		
25(木)		
26(金)		
27(土)		
28(日)	よみうりGENKIフェスタ2021(東京国際フォーラム)	
29(月)		
30(火)		
31(水)		

※ 必要な方は昼食をご用意ください。

Congratulations!!

◎ 毎日新聞社主催

第32回読書感想画中央コンクール・

第8回全道コンクール

最優秀賞 高3-S 須藤 みなさん



◎ 第39回 札幌市中体連スキー新人戦大会

優勝 中1-1 石丸 り子さん

5位入賞 中1-1 石水 香梅さん

兼 第43回 宮様ジュニア・アルペン競技会

6位入賞 中1-1 石丸 り子さん

24位入賞 中1-1 石水 香梅さん

4月 年度始めの予定

	行 事	お弁当
6(火)	高校新入生入学前オリエンテーション 寄宿舎入舎式 寄宿生 帰舎日	
7(水)	始業式(午前) 中高合同入学式(午後)	※

詳細は改めてご案内いたします。

また、学校送迎バスは8日(木)から運行します。

今月の聖句



「ここに大麦のパン五つと

さかな二ひきとを持っている子供がいます。

しかし、こんな大ぜいの人ではそれが何になりましょう。」

イエスは「人々をすわらせなさい」と言われた。その場所には草が多かった。そこにすわった男の数は五千人ほどであった。そこで、イエスはパンを取り、感謝してから、すわっている人々に分け与え、またさかなをも同様にして、彼らの望むだけ分け与えられた。

ヨハネによる福音書 6章 9～11節

この奇跡の話は私は、幼い頃、「イエス様は神様だから、このような超人的なことがおできになったのだな」くらいにしか思っていませんでした。でもこの札幌聖心に来て、修養会でご指導くださる林尚志神父様の話を聞き、目を開かれました。神父様はこの聖書の箇所を「自分が持っていたささやかな食べ物を差し出す子どもを見た周りの大勢の大人たちは恥じ入って、自分たちも食べ物を提供した。それによって、五千人分の食べ物が集まったのだと私は思う。」と解説されました。

実生活とはかけ離れているように思われるこの奇跡は、今もこのコロナ禍において、収入が途絶え、日々の食事にも困る人がいる中で、「どのような支援ができるのか」と私たちに問いかけています。ささやかでも自分の持っているものを困っている人のためにまず捧げるといふ、まさにその心こそが「奇跡」であると気付かされました。

クリスマス・プラクティスで、静けさを創り出し、お米やカイロの形でホームレスの方々に届け、また外国人支援物資を集め、そして「子ども食堂」でのボランティアや、勉強支援を一年間続けた生徒達の中にこの心を観たと感じました。

各々、自分の選んだテーマを研究して発表する中学3年生の卒業研究にも、「子ども食堂」があり、その発表を聞きながら、この発表会自体、それぞれがパンと魚にたとえられる自分の学びを差し出し、分かち合う場であると気付きました。こうして中学校生活を締めくくる一人一人が、さらに大きな実りを差し出すために学びを深めて活動につなげていけるようにと願います。

[校長 齊藤隆浩]